

9月9日は救急の日

救える命を救うために

救急業務と救急医療に対し、正しい理解と認識を深めることを目的に「救急の日」を定めています。救える命を救うために救急車の適正な利用や、心肺蘇生法による救命措置が大切です。

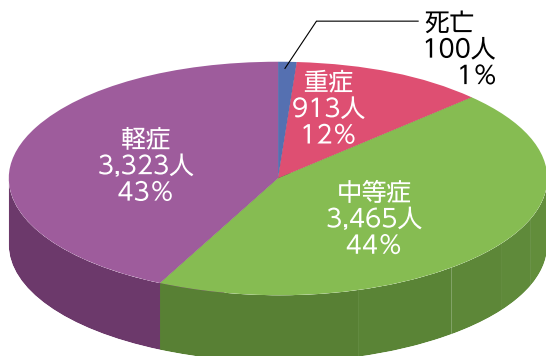
富士山南東消防本部 警防救急課
☎972-5803
富士山南東消防本部 裾野消防署
☎995-0119

その119番本当に緊急？ ～救急車の適正利用にご協力を～

近年、救急要請が全国的に増加しています。昨年中の管轄地域における救急出動件数は8,691件で、搬送人員は7,801人でした。これは、1日平均23.8件出動し、約26人に1人の割合で搬送したことになります。出動件数は、当市2,146件、三島市4,966件、長泉町1,579件です。事故種別では、急病が最も多く5,222件、次いで転院搬送1,232件、一般負傷1,227件の順となっています。また、高齢者の搬送状況は4,577人で、搬送人員全体の52.7%を占めています。

救急車は緊急性のある患者を迅速に医療機関に搬送するための車両です。尊い命を救うために救急車の適正な利用が必要です。

■ 昨年の傷病程度別搬送人員の状況



講習会に参加しませんか？

～普通救命講習会の参加者募集～

AED（自動体外式除細動器）を使った心肺蘇生法の習得をします。費用は無料です。

時 9月29日(土) 9時～12時

所 裾野消防署 3階災害対策室

対 中学生以上の方

定 30人（先着順）

申 裾野消防署・茶畑分遣所・須山分遣所にある申込書に必要事項を記入し、提出してください。

☎ 富士山南東消防本部 裾野消防署 救急係
995-0119

症状の緊急度を素早く判定。救急車を呼ぶ目安に！ ～救急受診アプリ「Q助」を活用しましょう～



急な病気やけがをしたとき、どうすればよいか迷ったことはありませんか。総務省消防庁では、市民の皆さんの判断を支援する救急受診アプリ「Q助」を提供しています。

主な機能

このアプリは、該当する症状などを画面上で選択していくと、緊急度に応じた必要な対応が表示されます。

- 今すぐ救急車を呼びましょう
 - できるだけ早めに医療機関を受診しましょう
 - 緊急ではありませんが医療機関を受診しましょう
 - 引き続き、注意して様子をご覧ください
- の、4段階のアドバイスをを行います。

その後、119番通報するか、医療機関および受診手段の検索を行うことができます。



利用方法

ウェブ版・スマートフォン版アプリから利用できます。詳しくは総務省消防庁ホームページをご覧ください。

http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/filedList9_6/kyukyuyu_app.html

